

学校給食センターでは、調理場と市内26の小中学校から排出される給食残さをゴミ減量と食品リサイクルの趣旨から堆肥化する事業を実施しています。

給食センター



食材の下処理により不要になった調理前残さをダストボックスへ



学校から戻った食べ残しの残さをダストボックスへ



収集車

一日平均760kg程の給食残さをトラックで埼玉県寄居町の堆肥化施設へ運びます。



完成した堆肥は野菜やお米等を作るのに利用されます。また、一部を袋詰めにし青梅市内の希望する学校に配布しています。



発酵パレット

この施設の中では、700個の発酵パレットをシステムで自動管理し、自然発酵により堆肥を製造しています。

彩の国資源循環工場  
株式会社アイル・クリーンテック



この施設では給食センターだけでなく、スーパーや飲食店の他、様々な事業所の食品残さを受け入れています。



第七中学校プランター



配布された堆肥は学校の菜園や花壇、プランターなどに利用されています。



第一中学校パンジーの花植

